

発行日 2013年12月24日  
改訂日 2022年7月21日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : MH703 ガンガム / MH713 ガンガム450  
 会社名 : 武蔵ホルト株式会社  
 住所 : 〒102-0076 東京都千代田区五番町14番地  
 担当部門 : 営業管理部  
 電話番号 : 03-4265-8010  
 FAX : 03-4265-8011

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない  
 健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 分類できない  
 : 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 : 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない  
 : 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 : 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない  
 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1C  
 : 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1  
 : 呼吸器感作性 : 分類できない  
 : 皮膚感作性 : 分類できない  
 : 生殖細胞変異原性 : 区分2  
 : 発がん性 : 区分1A  
 : 生殖毒性 : 分類できない  
 : 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない  
 : 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器)  
 : 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1(呼吸器)  
 : 誤えん有害性 : 分類できない  
 環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない  
 : 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない  
 : オゾン層への有害性 : 分類できない

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 発がんのおそれ  
 呼吸器の障害  
 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害  
 長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、腎臓の障害のおそれ  
 安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : ケイ酸塩系水性接着剤

成分名	%(wt)	CAS No.
ケイ酸ソーダ溶液	35~45	1344-09-8 7732-18-5
含水ケイ酸マグネシウム	35~45	14807-96-6
硫酸バリウム	10~15	7727-43-7
水	5~15	7732-18-5
添加剤、着色剤	5.0~7.0	非公開
結晶質シリカ	1.0~2.0	14808-60-7

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けること。  
衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断 / 手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火器, 泡消火器, 炭酸ガス消火器, 砂、水

使ってはならない消火剤 : なし

特定の消火方法 : 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。  
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。  
爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。  
可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 風上より作業する。作業の際には、保護手袋、前掛け、保護マスク等を着用し、皮膚に付着や蒸気等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項 : 河川等に廃棄しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェスなどで拭き取る。  
付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物業者に正規の方法で委託し処分する。

二次災害の防止策 : 河川・湖沼への流出の場合は、警察署・消防署・河川管理局・水道局・保険所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

技術的対策

: 皮膚、粘膜又は着衣に着けないこと。  
目に入らないよう適切な保護具を着用する。  
取扱い後には手、顔等をよく洗う。

局所排気・全体換気

: 換気の良い場所で行う。

注意事項

: 取扱いの都度、容器を密閉する。

保管

保管条件

: 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。  
: 高温、又は、0℃以下の場所で使用しない又は保管しない。

安全な包装材料

: 現行容器のままで保管する。

8. 暴露防止及び、保護措置

設備対策

: 取扱場所は給排気が充分にとれる設備とすること。

保護具

呼吸器の保護具

: 換気条件が悪ければ保護マスク

眼の保護具

: 保護メガネ

皮膚及び身体の保護具

: 手袋、長袖の着衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

状態

: ペースト状

色

: 灰色

臭気

: なし

融点・凝固点

: 0℃以下で凍結

沸点又は初留点

: 100℃(水)

可燃性

: なし

爆発下限界及び爆発上限界

: 該当しない

引火点

: 該当しない

自然発火点

: 該当しない

分解温度

: データなし

pH

: 10~12

動粘度率

: 該当しない

溶解度

: 水に一部溶ける。

n-オクタノール/水分配係数(log 値)

: 該当しない

蒸気圧

: 該当しない

密度(g/cm<sup>3</sup>)

: 1.5~1.8

相対ガス密度

: 該当しない

粒子特性

: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

: 常温・常圧、密閉状態であれば安定

化学的安定性

: 通常取り扱いであれば安定

危険有害性反応可能性

: 特になし

避けるべき条件	: 直射日光、50℃以上、0℃以下
接触混合禁止物質	: 酸と反応してゲルを生成したり発熱する。アンモニウム塩と反応してアンモニアガスを発生する。重金属、アルカリ土類金属の各塩と作用して金属けい酸塩の水和物沈殿を生じる。
危険有害な分解生成物	: 特に情報を有していない

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

経口	: 既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
経皮	: 既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
吸入: 気体	: 本製品はGHS定義による気体ではないため区分に該当しない。
吸入: 蒸気	: 既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上含有のため区分を分類できないとした。
吸入: 粉じん、ミスト	: 既知成分は、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。

皮膚腐食性／刺激性 : ケイ酸ソーダが5%以上のため区分1Cに該当。  
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

眼に対する重篤な損傷性／  
眼刺激性 : ケイ酸ソーダが3%以上のため区分1に該当。  
: 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。

皮膚感作性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : 結晶質シリカ $\geq 1\%$ のため区分2に該当。  
遺伝性疾患のおそれの疑い

発がん性 : 結晶質シリカ $\geq 0.1\%$ のため区分1Aに該当。  
発がんのおそれ

生殖毒性 : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。しかし、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分を分類できないとした。

生殖毒性・授乳影響 : データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : タルク $\geq 10\%$ のため区分1(呼吸器)に該当。  
呼吸器の障害

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : タルク、硫酸バリウム $\geq 10\%$ のため区分1(呼吸器)に該当  
結晶質シリカ $\geq 1\%$ のため区分2(免疫系, 呼吸器, 腎臓)に該当。  
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害  
長期にわたる又は反復ばく露による免疫系, 腎臓, 呼吸器の障害のおそれ

誤えん有害性 : 本製品はペースト状であり 動粘度率 20.5mm<sup>2</sup>/s以上であるため区分に該当しない。

\* この製品での安全性試験は行っていない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない 加算法より

水生環境有害性 長期(慢性)	: 分離できない 加算法より
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
汚染容器及び包装廃棄	: 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

注意事項	: 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。 荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	: 法令の基準に従い積載、運送を行う。
海上輸送	: 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	: 航空法の定めるところに従うこと。
国連分類	: 8
国連番号	: 3262 その他の腐食性物質(無機物)(固体)(アルカリ性のもの)
容器等級	: III

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	
表示対象物質	: 結晶質シリカ
通知対象物質	: 結晶質シリカ
PRTR法	: 非該当
消防法	: 非危険物
毒物・劇物取締法	: 非該当

## 16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。  
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。  
また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。